

あなたの手を、世界の誰かに。

2016年4月16日

セカンドハンド通信 NO.84

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/>



救急医療における人材育成事業 専門家派遣実施!

2014年2月から高松市と協働してJICA草の根事業で、カンボジア、スヴァイリエン州の救急医療における人材育成事業を行っており、今年2月に高松市の消防局から救急救命士2名を10日間、NPO法人TICO（徳島）から医師2名を3日間派遣しました。

これまでの成果を計る為、①救急車に搭乗する人、②救急救命をする医師、を対象に実技試験を行いました。①では、患者を搬送する為に必要最低限の知識と技術が身についているかのテストで、観察、固定、搬送が適切か、機材が正しく使えているか、患者にやさしく丁寧に接しているかをチェックしました。受験者44名全員が一定レベル以上で合格し、過去の研修を身につけ、関係者が感動するほど、迅速で模範的なチームもありました。

②の試験は、救急医療のリーダーとして他の医療従事者を指導できる技量があるかの試験。救急救命室で看護師に的確に指示を出しながら処置ができるかを、2つの症例でテストしました。日本の医師でも20人に1人くらいしか合格しないだろうという難易度の高さでしたが、11名の受験者のうち来日研修を受け



実技試験を実施!

た1名が高得点で合格しました。高松での研修でも常に熱心だった彼。帰国後も定期的に勉強会を開催し、学んだことを同僚に広めています。

「全体として、医師、看護師らの技術・観察能力が上がっている」と評価できる結果が出て、事業は締めくくりの3年目。今回の試験の成績優秀者を含む4名を、今年5月末から日本に招き、「指導者を育てる研修」を実施します。

※本事業はJICA草の根技術協力事業を受託し、高松市と協働で実施しています

この医療支援に関するパネル展示します!

日程:6月6日(月)~12日(日)10:00~21:00

場所:瓦町FLAG8階

カンボジアの医師から学ぼう! (医療事情と研修報告)

日程:6月11日(土)14:30~16:00

場所:IKODE瓦町 大会議室2(瓦町FLAG8階)

参加費:無料

※同会場でセカンドハンドの総会(13:00~14:15参加自由)も行います

カンボジア医師の歓送会

日程:6月11日(土)17:00~19:00

会場:びかでり屋(高松市福田町9-5)

会費:2,500円

※ソフトドリンク1杯付き&ドリンク持ち込み可
(ドリンクの追加注文はできませんのでご了承ください)



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

教育支援

カンボジア トバエン村 トバエンプナウ小学校・幼稚部建設

22校舎目

カンボジアでは教育は小学校からが主流でしたが、近年、地方でも3歳以上を対象にした就学前教育が広がっています。プレイベン州のトバエン周辺の小学校で幼稚部がないのはここだけ。村人たちが住職に相談し、寺を中心に自分たちでお金を集め、ツケ払いで建設を始めましたが、この地域とセカンドハンドを知る人から支援依頼がありました。

建設する3教室は幼稚部、図書室、職員室。セカンドハンド側からは、瓦屋根にすること、トイレの増設を提案させてもらいました。コスト削減のため、トタン屋根を予定していましたが、雨が降ると音がうるさく、とても暑いので、子どもたちが快適に過ごせることを最優先としました。これら増額分を含めて約150万円の支援をします。

今回訪問した際、小学校の教員4名のうち2人が、小さい赤ちゃんを抱っこしながら教壇に立っていました。地方では弟や妹を連れてくる生徒もいます。

日本も昔はそうでした。保育園ができるのなんて、まだまだ先のことなのでしょうね。ママさん先生、子どもたちと一緒に頑張れ～！

現在、建設資金150万円を集めています。ご協力をお願いします！



生後4か月の子を抱っこ紐で抱きながら教えるママさん先生！

子どもの人身取引及び児童労働防止プロジェクト 事業報告

2013年度の教育支援事業として行った国際子ども権利センター（シーライツC-Rights）の活動への支援について、代表理事の甲斐田様よりご報告をいただきました。



絵本を読む3人の少女

2014年4月にセカンドハンドのみなさまのご支援により、その地域でコミュニティセンターを建設することができました。センターに、図書室とチャイルド・フレンドリー・

スペースを設置することにより、子どもたちが楽しく学ぶことができ、また活動の大切な拠点ともなっています。子どもたちが自分たちの権利や人身売買、児童労働について学ぶのはもちろんですが、知識に限らず、仲間同士で話し合い、自分の意見を表すことによって、日々ライフスキルも身につけています。

初めは自信がなかった子どもたちも、このセンターで劇をしたり、ディベートを行ったりすることによって、どんどん自信をつけ、たくましくなっています。ここで学んだ子どもたちは将来、自らを人権侵害から守ることができるようになり、たとえ人権侵害に遭ってもきちんと対処できる人間になることができるでしょう。このように子どもたちが仲間と共にエンパワーしあえる大切な場をご提供いただいたことに深くお礼を申し上げます。セカンドハンドのみなさまには、ぜひ現地を訪問して、輝いている子どもたちに会っていただければ幸いです。今後とも引き続きご支援をいただくことができれば大変有難く思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

国際子ども権利センター（シーライツC-Rights）
甲斐田万智子（代表理事）

奨学金支援

支援者募集!! 今秋からの新年度のスカラーペアレント

2012年にスタートしたスカラーペアレント制度。これは日本の支援者がカンボジアの貧しくて学校に通うことのできない中高生の里親となり、生徒が学校に通い、学び続けられるよう経済的に支援する奨学金支援制度です。「勉強して夢を叶えたい」「将来社会に貢献したい」という想いを持っていても貧しくて学校に通えない生徒がたくさんいます。遠い日本からでも月額5,000円で彼らの夢を支えられるのがこの制度です。支援は、個人での支援はもちろん、お友達同士やサークルなどのグループでも可能です。

ここでは、2016年10月の新学期から奨学金支援を希望する生徒のうち、4名をご紹介します。



Kim Sreyhouch

キム スライホーイッチさん
(写真左)

中学3年生 15歳
将来の夢：弁護士

8人家族。工場で働いていた兄が病気に罹り、家計を支えていた収入源が減ってしまった。父親はバイクタクシーの運転手をしており収入が不安定なため、日々家族が食べていくことで精一杯。将来は貧しい人や、不平等に扱われている人を助けたいという想いから、弁護士を目指している。



San Sreypich

サン スライピッチさん
(写真左)

高校1年生 15歳
将来の夢：クメール語の先生

両親と弟3人の6人家族。家族の収入は父親が警備員として得る給料のみ。長女である彼女は、自分自身がいい仕事につき、家庭を支えていきたいと考えている。将来は、クメール語の先生になって子どもたちに勉強の楽しさを教えてあげたいという気持ちから、今後も学校へ通い続けることを切望している。



Leap Ravith

リアップ ラビットくん
(写真右)

高校1年生 16歳
将来の夢：技術者

母親と姉、弟の4人家族（父親とは別居）。母親は市場で卵を販売しているが、一日の収入はたったの2.5ドル。工場勤務の姉が家計を支えているが、その中からラビットくんが学校へ通い続けるためのお金を捻出することが難しく、支援してくれる人を求めている。



Kun Sakol

クン サコールくん
(写真左)

高校1年生 19歳
将来の夢：弁護士

母親と姉、甥の4人家族。家計を支えているのは、工場で働いている姉。借家生活のため、生活費の約半分を家賃として収めている。残り僅かな金額では生活していくだけで精一杯。将来は弁護士になって貧しい人々を救いたいと考えている。そのため今後も学校へ通い続けるための支援を希望している。

カンボジアの子どもたちの状況を知りたい方、奨学金支援がどういう効果をもたらすのか知りたい方、まずはお気軽に下記の募集説明会にご参加ください。TV電話での通話交流（予定）もあります。

☆奨学金支援 スカラーペアレント募集説明会開催☆

【日時】4月23日（土）10時30分～12時

【場所】IKODE瓦町 大会議室2（瓦町FLAG8階）

【参加費】無料（お茶菓子あり）

【内容】概要説明、奨学生（カンボジアの中高生）の生活紹介、現地の奨学生と交流（スカイプ通話を予定）、支援者の声（奨学金支援を行っている香川大学生が、奨学生に会いに行った際の話をする）

【申込み】4月22日（金）までに事務局（087-861-9928）へお申し込みください

次ページで、スカラーペアレント制度で支援を受け、無事に高校を卒業し大学に通うことができていた学生とその支援者へのインタビューを紹介しているよ！





心と心が繋がる支援 フォスターペアレントとスカラーペアレント



セカンドハンドのフォスターペアレント制度（孤児院支援）とスカラーペアレント制度（奨学金支援）。どちらも共通しているのが現地の子ども（生徒）1人と日本の支援者1人（組）を里子、里親と捉え、年に数回の手紙や写真のやり取りで繋いでいることです。現地の子ども達は遠く離れた日本から自分のことを想ってくれる人がいることで精神的に強くなり、一生懸命勉強に励みます。今回は、そんなフォスターペアレント、スカラーペアレントに支えられた卒業生とそれぞれの日本の里親にインタビューしました。

●フォスターペアレント制度 支援額：月3,000円もしくは5,000円

カンボジア・バタンバン州のホームランド孤児院で暮らす子ども達を経済的にご支援いただき、手紙などで交流ができるプログラムです。子ども達の食事をはじめとする生活費、教育費、親がいる場合には子どもを二度と人身売買の被害に遭わせないようにするための指導や、収入を得られるよう小規模ビジネスなどの立ち上げ支援をする活動等に充てられます。

ブッティ Vuthyさんと横田さん



ソク・ブッティ
Sok Vuthy くん

路上で物乞いをしていたVuthyくんは、9歳でホームランドに入り14歳の時に里親、横田さんに出会いました。勉学に励み、自分で奨学金を得てフランスの大学にも留学。現在は首都プノンペンの日系企業で電子工学の技術者として働き、将来は起業をする夢を持っています。



横田さんご夫婦

フォスターペアレント
横田さん(写真右)

ボランティアとして丸亀店をご夫婦で支えてくださいました。現在も別の里子のフォスターペアレントとしてホームランドの子ども達を支えています。

Q1 もし支援がなかったら？

もし支援がなかったら…というのを考えるのはすごく難しいです。ただ、ホームランドに入る話があった時、本当は物乞いをしながらでも、ずっとお母さんと一緒に居て助けたいという気持ちが強かったのですが、お母さんから「私の願いは、あなたがしっかり勉強して夢をかなえること」と言われたのを覚えています。僕と同年でホームランドから逃げ出し、学校に通えなかった子たちは、今、すごく安い賃金で働いていると聞いています。修士号を取ったとき、僕は、これで母に榮をさせてあげられるって思ったんです。しかし母は昨年9月に亡くなりました。僕はもっと強い人間になろうと思います。母が生前僕にいつも言っていたことです。

Q2 フォスターペアレント 横田さんへのメッセージ

何も知らない僕のことを支援しようと決意してくれた横田さんの思いにできる限りこたえたいという思いでここまでやってきました。横田さんは母と同じぐらい僕を温かい気持ちにさせてくれる存在です。また日本を訪れて感謝の気持ちを直に伝えたいです。

Q1 フォスターペアレントになる きっかけは？

ちょうど息子が卒業した時期にセカンドハンド通信に新しくフォスターペアレント制度が発足した記事を読んで、ちょっと家族で外食するくらいの金額で誰かの役に立つならば…と思い、始めました。

Q2 なってみての感想は？

定期的に送られてくるレポートに生活の様子や写真、絵などが送られていて成長の様子がわかります。いつも勉強ばかりと書いてあって「本当かなあ」と思いましたが、2011年の来日の際、寸暇を惜しんで勉強するVuthyの様子を見てびっくりしました。

Q3 みなさんへのメッセージ

孤児院でいた彼が、セカンドハンドを通じた支援で大学に進み、留学して修士号を取得し、一流企業に就職した…。シンデレラストーリーのようなのですが、内戦後の貧困、物乞い時代、孤児院での生活と、とても厳しい環境だったと思います。「強く生きなさい」と言っていた亡くなったお母さん、ホームランド、セカンドハンドの精神的、経済的支えで目標に向かえたのだと思います。

ほんの少し耳を傾けて手を貸して下さい。わずかでも日本人が思う以上の価値になります。遠い国の子どもの人生を変えるチャンスがここにあるし、それを待っている人達がいます。

●スカラーペアレント制度 支援額：月5,000円

カンボジア・プノンペン市のセンソック中学校、センソック高校に通い、経済的理由で支援がなければ学校に通えなくなる可能性のある成績優秀な生徒を、日本の支援者がスカラーペアレント（里親）となり奨学金支援をしていただく制度です。年2回、生徒からの手紙や成績が送られ、日本から手紙やプレゼントを送ることも可能です。

シン Thinさんと山本さん



ソク・シン
Sok Thin くん(大学1年生)

家が貧しく電気がない中、ろうそくを使って勉強を続けていたThinくん。高校2年生から山本さんからの支援を受け、無事に高校を卒業しました。その後も山本さんが支援を継続してくださり、昨年から大学で心理学を専攻し、将来は精神疾患に悩む方を助けたいと勉強に励んでいます。



スカラーペアレント
山本さん

テレビ番組でセカンドハンドの活動を知り、家にある品物を送って協力してくださっていました。リユース商品を販売しその収益をカンボジア支援にあてるというWINWINの運営方法に共感してくださったそうです。

Q1 もし支援がなかったら？

僕の家族は5人兄弟で兄と妹は工場で働き、その稼ぎを家計の足しにしていました。もし支援がなかったら、僕も学校には通えず、夢を持つこともなく、バイクタクシーの運転手のような、低賃金で不安定な仕事にしか就けなかったと思います。

Q2 スカラーペアレント 山本さんへのメッセージ

親愛なる山本さん、山本さんのサポートがなければ今大学で様々な知識や技術を学んでいる自分はいませんでした。山本さんは僕の母であり家族であると思っています。僕自身も、僕の家族もあなたにお礼を言っても言い足りないほど感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちはずっと忘れることはありません。いつもあなたとあなたの家族の幸せを祈っています。どうか、いつもお元気で過ごしてください。



支援を待つ子ども（生徒）がいます。募集要項などの資料請求など、お気軽に下記までお問い合わせください！

セカンドハンド本部事務局
TEL：087-861-9928
E-mail：jimukyoku2hand@yahoo.co.jp

Q1 スカラーペアレントになる きっかけは？

セカンドハンド通信でスカラーペアレントの事を知りました。どの国に生まれるかは本人には選べない宿命です。カンボジアはボルボト派による大虐殺があったことが深く印象に残り、また胸を傷めていました。そのような政治経済の不安定な状況の国に生まれてきた不利益は日本人には想像もつかないような事だと思います。少しでもそういう不公平がなくなって欲しい、カンボジアが発展する為の人材が一人でも多く必要だと思い支援させていただく事にしました。

Q2 なってみての感想は？

写真を送っていただいていたThinくんの素朴な笑顔に心が温かくなりました。お手紙から勉強出来る機会が出来た事にとっても感謝されている様子が伝わってきました。また私だけでなく家族の幸せも願ってくれる優しさが嬉しかったです。Thinくんの進学によってThinくんとそのご家族が一層お幸せであればいいなと願っています。

Q3 みなさんへのメッセージ

スカラーペアレントに関心を持たれたのでしたら、大きなチャンスです。一市民のささやかな他者や他国を思う気持ちが、小さくとも平和に貢献することに繋がればいいと願って、一緒に行動を起こしませんか？



世界の平和なんて理想にしか過ぎないかもしれない。けど、理想を持つことから始めると信じてる。僕に世界を変える力はなくても、世界を変える人を育てるチャンスがある。一人から、やがて100人、1,000人と…

新年度・学校でできる国際協力!

セカンドハンドには毎年、多くの学校の生徒達にご寄付・ご協力を頂いています。授業の一環でボランティア体験活動をしたり、生徒会が中心となって行う募金活動、使用済み切手・使用済みハガキの回収、また学校内でのチャリティーバザーの開催等、様々です。新年度が始まった今、学校でできる国際協力を一緒にしてみませんか?セカンドハンドの職員や理事が学校へ講演に行くこと、支援先との交流の機会を作ることも可能です!詳しくは本部事務局(087-861-9928)までお問い合わせください!



生徒会で声をかけボランティア体験に来てくれた県立北中学校の生徒

ボランティア体験日開催! 毎月第3木曜日@セカンドハンド高松店



この春からセカンドハンドでボランティア始めてみませんか?ボランティア活動が初めての方も、しばらく遠ざかっていたという方も、老若男女問わずどなたでも体験していただけます。現在ボランティアとして活動している方との茶話会も企画☆お気軽に本部事務局までお問い合わせください!

身近なもので国際協力♪

切手/携帯電話/書き損じハガキについてご報告

皆さまにご寄付いただいたものを支援金にかえさせていただきます。ご寄付、ご協力いただきありがとうございました。使用済みカード以外は続けて募集していますので引き続きご協力お願いいたします!

書き損じハガキ(約3000枚) 郵便書簡2,177枚に交換しました!

ハガキは1枚からでも、どんな古いハガキでも、往復ハガキ、印刷ミス、もちろん未使用のものも大歓迎です。セカンドハンド通信発送時に使用する郵便書簡と交換します!

使用済み切手(約60kg) 54,960円で買い取ってもらいました!

封筒やハガキに貼られてきた切手を、周囲5mm程度を残した状態で集めています。

使用済み携帯電話(42台) 6,600円で買い取ってもらいました!

もう使わなくなった携帯電話はありませんか?どんなに古いものでも、壊れたものでも大丈夫です。1台のみでもお譲りください!

使用済みカード(約75kg) 12,000円で買い取ってもらいました!

現在、セカンドハンドでは使用済みカードのお受け取りは終了いたしております。これまでご協力いただいた皆様、ありがとうございました!

退任のご挨拶

2011年に長年勤めた先輩から仕事を引き継ぎ、わからないことだらけで頼りなかったと思いますが、ボランティアの皆様やお客様など、人生経験豊富で幅広い知識をもつ皆様から仕事のやり方のみならず、多くを学んだ4年半でした。セカンドハンドの活動の中心にはいつも多くのボランティアの皆さんがいて、社会を変えていく力を生み出しています。とても大きなことなのに誰も鼻にかけず、飄々と作業をされている姿にはいつも背筋を正されていました。皆さんの姿勢や教えていただいたことを活かし、歩んでいきます。

いつも優しく、温かく見守ってくださり、ときに厳しい言葉をかけてくださいました皆様、ありがとうございました。

渋谷 壮平

SPECIAL THANKS

〈敬称略〉

12/1~3/31までの3ヶ月間にご寄付などでご協力くださった方々です。その他にも様々な形でご協力くださった皆さまありがとうございました。【寄付】香川県/大谷芳見、柏原裕美、加藤昭彦、川田貴美子、久保智枝、下川実千代、杉田螢子、竹本政弘、田中満子、古高松南小学校、星合尚、溝渕広史、横田千春、大分県/村上和代、大阪府/藤原和子、岡山県/西川秋美、東京都/シュエリン公子、塚田泰代、中澤力、徳島県/遠藤寛、大久保洋一、武知忠義、時枝恵美子、富山県/荻浦いく弥、奈良県/瀬崎滋雄、森口洋子、福岡県/岩下順子、後藤富子、福井県/中村凱次(元子)【その他】香川県/稲井文正、高松保育園、中国酒家、林田物流株式会社、吉田愛服飾専門学校、MUSIC CAFÉ mimosabird、岩手県/株式会社小山製麺、東京都/柚子堂



各地でひろがるセカンドハンドの輪



セカンドハンド・ユース

2月に台湾地震の被災地支援のために街頭募金で11,155円を集め、日本赤十字社に託しました。被災地の方々へ少しでも皆様の思いが届きますように。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

3月に1年間代表をつとめた芋坂さんが卒業し、昨年11名に増えた新メンバーに活動が引き継がれました。毎月の街頭募金でカンボジアの学生を支援する活動を中心にしています。新年度メンバーを募集しているので、少しでも興味のある方はお気軽にご連絡ください。(secondhand_youth@yahoo.co.jpまで)

※街頭募金は毎月第3土曜日を予定しています!



セカンドハンド関東

2016年1月、セカンドハンド関東の代表が早船さんから阿部に交代しました。早船さん、2年半、おつかれさまでした! 暖かく良い季節になってきたので、ぜひ何かイベントを企画したいと考えています! できることから少しずつ、活動していきます。

セカンドハンド福岡

自由農園店主・佐藤様より道の駅「あゆのさと」(佐賀)で開催したバザーの売上11,300円をご寄付いただきました。草ヶ江幼稚園主催のイベント時など、品物集めで長年ご協力いただいています。福岡店玄関前でのバザーも近々開催して下さるそうです。楽しみにしています!

セカンドハンド京都

2013年から京都で始めた活動ですが諸事情によりしばらくお休みさせていただくことになりました。京都でも活動を通じて素敵な出会いがあったので非常に残念ですが、また活動できる時がきましたらセカンドハンドのために頑張りたいと思います。

丸亀店は閉店しましたが、丸亀方面で物品販売可能な空き店舗、空きスペース等探しています! 情報をお持ちの方は本部事務局までお知らせください!

丸亀店

1997年に商店街でお店をはじめ、2011年からパワーシティ丸亀に拠点を置いていた丸亀店が2016年2月末に家主側の都合で閉店し、3月3日に撤去作業を行いました。※林田物流さんより無償でトラック2台を出して頂きました!

お客様からは「ここが唯一の楽しみだった」「素晴らしい活動なのに閉店は残念」と嬉しい言葉をたくさんいただき、多くの方にとって当店が何らかの意味をもっていただくことに感動しました。19年にわたり多くの皆様に支えていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

第15弾!!

「どんな人達がボランティアしているの~?」 ~丸亀店お店番スタッフ編~

今回は、2016年2月末で惜しまれながら閉店した丸亀店より、素敵な二人をご紹介します



渡部御千子さん

(イギリス在住時にチャリティーショップのファンに。帰国の頃にセカンドハンド丸亀店が開店、以来約20年ずっと丸亀店を支えて下さいました!)

空いた時間をボランティア活動に使う、その積み重ねで誰かの役に立てる、というのが素晴らしい。70歳を超えた私が20年もボランティアを続けているのは、ボランティアをしていると優しい気持ちになれるし、多様なお客さんと出会い、元気をもらえるから。今日もお客さんと閉店の話になり、「ここでは今日が最後なのよ」とお客さんに話すと「渡部さんに会えてよかった」と言ってもらえました。日本では他にあまり見ることがないチャリティーショップ。もっといろんなところに増えたらいいなと思っています。



松野千鶴子さん

(発送作業から始まりお店番へ。軽い気持ちで始めたものが、毎週必ずお店番をやるまでに。得意のディスプレイで丸亀店を盛り上げて下さいました!)

3年くらい前に丸亀市の広報に載っていたボランティア募集の記事を見てセカンドハンド通信の発送作業に参加したのがきっかけです。そのときは長く続けるつもりはなく、軽い気持ちで来たのですが、一緒に作業したボランティアの方がすごく熱心で、自分も続けてみよう!と思いました。自分のペースで無理せず続けられたことも良かったです。ボランティアをする中で「節約」が癖になり、家でもセロテープを短めに使ったり、裏紙をメモ用紙代わりにしたり...と、いつの間にか生活の一部になっていました。これからもずっと続けたいと思っていたし、チャリティーショップのシステムは面白いので、丸亀店の閉店はすごく残念で寂しい...(>_<)

Second hand Official Supporter:SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支えてください!お申し込みは同封の申込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としもご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典:報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

余ってませんか?提供して下さい!

コピー用紙・色コピー用紙(どちらもA4サイズ)、プリンターインク*・蛍光灯(メーカーや型番はお問い合わせください)、油性マジック(各色)

*プリンターインク型番:BCI-351XL(Canon)

欲しいもののリスト、ホームページに随時掲載中!

通信発送についてお知らせとご協力のお願い

年間1,000円以上ご寄付された方、商品提供者、SOS会員に、年4回無料でお届けしています。過去ご協力、ご寄付くださった皆様には年2回(4月・10月)となります。読みやすく、成果がみえ、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして年間1,000円以上のご寄付で応援してください!

商品提供の受付

夏物衣類:7月下旬まで

秋物衣類:7月中旬から9月下旬まで

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【持込先】セカンドハンド高松店

【送り先】これまでセシルさんに倉庫での荷物受取りをご協力いただいていたが、ご都合によりご協力いただけなくなったため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取り場所などが決まれば、お知らせします。

	郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
ゆうパック	760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市観光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
クロネコヤマト	760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

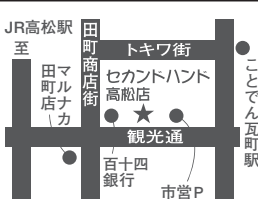
セカンドハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
毎月第3木曜日	ボランティア体験日	セカンドハンド本部
4月23日(土)・24日(日)	ガレージセール	セカンドハンド多賀町倉庫
4月23日(土)	スカラーベアレント募集説明会 時間:10時30分~12時 参加費:無料	IKODE瓦町大会議室2(瓦町FLAG8階)
5月3日(火)・4日(水)	丸亀お城祭り	丸亀城内
5月15日(日)	フェアトレードまつりinかがわ	サンポート高松
6月6日(月)~12日(日)	草の根技術協力事業パネル展示	瓦町FLAG8階
6月11日(土)	セカンドハンド総会 時間:13時~14時15分 参加費:無料 カンボジア医師報告会 時間:14時30分~16時 参加費:無料	IKODE瓦町大会議室2(瓦町FLAG8階)
6月11日(土)	カンボジア医師献送会 時間:17時~19時 会費:2,500円 ※ソフトドリンク1杯付き&ドリンク持ち込み可(ドリンクの追加注文はできませんのでご了承ください)	びかでり屋(高松市福田町9-5)
6月25日(土)	梶田バレエ団発表会(バザー出店)	静岡市内
7月2日(土)・3日(日)	ガレージセール	セカンドハンド多賀町倉庫
7月16日(土)	セカンドハンド通信85号発送作業	セカンドハンド本部4階

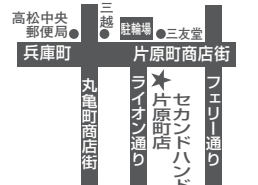
本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
月~金 10時~16時
土 11時~15時
日・祝日は定休日



片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
月~金 10時~18時
土・祝日 10時~17時



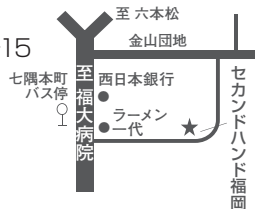
丸亀店

丸亀店は2月末で閉店しました。
丸亀方面で物品販売可能な空き店舗、空きスペース等探しています!情報をお持ちの方は本部事務局までお知らせください!

セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:
月 11:00~15:00



■セカンドハンド大阪

徳
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

吉田
(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com
http://www.facebook.com/secondhandhokkaido

■セカンドハンド関東

阿部
(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集!

☆このセカンドハンド通信は3ヵ月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。